

迫桜高 Library ~ほんとの出会い~



令和6年9月18日 宮城県迫桜高等学校図書館 NO.4

文責：学校司書 尾崎

図書委員会研修に行ってきました！ 仙台文学館を見学&八文字屋書店泉店で選書

夏休み中の8/8(木)に図書委員会研修を実施しました。

午前は仙台文学館の見学、午後は八文字屋書店泉店に移動して、図書館用の本を選んできました。昨年度同様、今年度も本校 OB:柴山繁夫氏より図書寄贈の申し出をいただき、その選書も行ってきました。購入した本は、考査明けから貸出をスタートします。「図書委員が選んだ本！」見に来てくださいね。

(7月実施の皆さんからのリクエストについては、検討結果により購入しました。) 【図書館カレンダー】

■…閉館日

〈 参加した生徒の感想 〉

仙台文学館では、宮城県ゆかりの作家さんの展示や、震災に関する展示を見ることができました。普段、なかなか触れることがないものばかりで、文学の歴史など色々なことを学べて良かったです。

八文字屋書店では、どのような本を生徒の皆さんが読みたいのか、よく考えながら選びました。

今回の経験を踏まえ、これからは色々なジャンルの本を読んでいこうと思います。 3年1組 T・K



9月 September

日	月	火	水	木	金	土
15	16	17	18	19	20	21
—	敬老の日			期末考査	期末考査	—
22	23	24	25	26	27	28
秋分の日	振替休日	期末考査	期末考査	自宅学習日	始業式、高校生のための文化講演会	—
29	30					
—						

10月 October

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
						—
6	7	8	9	10	11	12
—				開校記念日		—
13	14	15	16	17	18	19
—	スポーツの日			迫桜祭準備	迫桜祭	迫桜祭
20	21	22	23	24	25	26
—	振休	迫桜祭片付け		芸術鑑賞会		—
27	28	29	30	31		
—				防災避難訓練		

※急な変更もあります。

「高校生のための文化講演会」開催について

令和6年9月27日(金) 本校アリーナ

集英社主催『高校生のための文化講演会』は1966年スタートしました。

今年度、希望する多くの高校の中から本校での開催が決まりました。作家や評論家などの講演を通して高校生の皆さんが思索を深め、将来の指針を決定する一助となることを目指しています。

また、より多くの本と触れ合い読書の喜びを体験できるよう、学校へ図書をご寄贈いただきます。

講師紹介：小説家 新庄 耕 氏

1983年東京都生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒業。

2012年、第36回すばる文学賞を受賞した『狭小邸宅』にてデビュー。著書に『カトク 過重労働撲滅特別対策班』『サーラレーオ』『ニューカルマ』『地面師たち』がある。

*すばる文学賞→既成の文学観にとらわれない、気鋭の新人を待つ文学賞。

裏面に続く→



新しく入った本

0 総記 (情報 図書館 読書 書籍 事典など)

『戦地の図書館 海を越えた一億四千万冊
創元ライブラリ』モリー・グプティル・マニング著◎

2 歴史 (日本と世界の歴史 地理 伝記など)

『るるぶ仙台松島宮城 宮城24 るるぶ情報版』☆

3 社会 (政治 法律 経済 職業 防災 民族文化など)

『組織不正はいつも正しい ソーシャル・アバランチを
防ぐには 光文社新書』中原翔著☆
『ハーレムの熱い日々 ちくま文庫』吉田ルイ子著◎
『猫だけが見える人間法則 Hanada新書』佐藤優著◎
『ルポ スマホ育児が子どもを壊す』石井光太著◎

4 自然 (数学 化学 宇宙 昆虫 植物 動物 人体など)

『みんなの氣功 手軽な中国健康体操』鈴木隆彦著◎

5 技術 (環境問題 機械 乗り物 建築 料理 裁縫など)

『もっと残念な鉄道車両たち』池口英司著☆

6 産業 (農業 園芸 水産業 商業 交通 通信など)

『営業の神様 ヤマナシさんが教えてくれたこと』
早崎郁之著◎

7 芸術 (絵画 書道 写真 音楽 スポーツなど)

『日本の伝統染織事典』中江克己著☆
『和の色のものがたり季節と暮らす365色』☆
『和の色のものがたり歴史を彩る390色』早坂優子著☆

9 文学 (詩 短歌 俳句 百人一首 エッセイ 小説など)

『ラーゲリより愛を込めて 文春文庫』辺見じゅん原作
林民夫映画脚本 前川奈緒ノベライズ☆
『パレートの誤算 祥伝社文庫』柚月裕子著☆
『ぼくが生きてる、ふたつの世界 幻冬舎文庫』
五十嵐大著 **映像化**
『東京都同情塔』九段理江著◎
『ともぐい』河崎秋子著◎
『八月の御所グラウンド』万城目学著◎
『サンショウウオの四十九日』朝比奈秋著◎
『バリ三行』松永 K 三蔵著◎
『ツミデミック』一穂ミチ著◎
『常盤団地の魔人』佐藤厚志著◎
『化物語 上・下 講談社BOX』西尾維新著☆
『大地と星輝く天の子 上・下 岩波文庫』◎
『団地のふたり 双葉文庫』藤野千夜著◎
『ファントム上・下 扶桑社ミステリー』スーザン・ケイ著◎
『紫式部ひとり語り 角川ソフィア文庫』山本淳子著◎
『骨を引き上げろ』ジェズミン・ワード著◎
『アドニスの声が聞こえる』フィル・アール作◎
『私の身体を生きる』島本理生 西加奈子ほか著◎
『原爆詩集 岩波文庫』峠三吉著◎
『きけわだつみのこえ 日本戦没学生の手記 新版
岩波文庫』日本全没学生記念会編◎
『頭のいい人が話す前に考えていること』安達裕哉著◎

☆リクエストされた図書 ◎寄贈された図書

おしらせ

◇同窓会東京支部様より図書を

寄贈していただきました

- 第170回芥川賞受賞 『東京都同情塔』
 - 第170回直木賞受賞 『ともぐい』
『八月の御所グラウンド』
 - 第171回芥川賞受賞 『バリ三行』
『サンショウウオの四十九日』
 - 第171回直木賞受賞 『ソンデミック』
- 〈ご厚意、ありがとうございます〉

◇本の返却、忘れていませんか？

夏休み前に借りた本の返却を忘れていませんか？次に読みたい人が待っています。

読み終わっていない場合は図書館で延長の手続きをしましょう。

(調査明けに「返却のお願い」を発行します)

絵本

『フードバンクとぼく』米山けい子さく 三井ヤスシえ◎
『おかあさんがおかあさんになった日』長野ヒデ子作
『てんごく』新美南吉詩 長野ヒデ子絵
『ちょっぴりながもちするそうです MOEのえほん』

ヨシタケシンスケ著

募集中!

自分の可能性を広げるチャンス!

「2024宮城県ビブリオバトル高校生大会」 へ挑戦してみませんか!!

- ・日時:令和6年11月30日(土)12:20~
- ・会場:宮城県庁講堂
- ・バトル(発表者)、オーディエンス(観覧者)を募集しています。参加したい・興味がある生徒は国語科の先生や図書館にお知らせください。応募メ切は9月27日(金)



〈ビブリオバトルとは〉お気に入りの本を持ち寄り、順番にその本の魅力などを介する書評合戦。

